

# 第1学年\*組 国語科学習指導案

指導者 會澤 奈津子

1 単元名 ようすをおもいうかべながらよもう「おとうとねずみ チロ」

2 目 標

お話の読み聞かせを楽しんで聞いたり，興味をもって読んだりしようとする。  
主人公になりきって書く事柄を決め，手紙を書くことができる。  
場面の様子や人物の気持ちを工夫して表現しながら，音読することができる。  
漢字，片仮名を正しく理解し，文や文章を読んだり書いたりすることができる。

3 単元について（男子\*人 女子\*人 計\*人）

本教材は，兄弟の中で最も幼いチロがだれの助けも借りずに心配ごとを乗り越え，おばあちゃんと心を通わせていく物語である。この時期の1年生なりの自立心の芽生えに重なっており，また「チロ」が「おとうとねずみ」であることも，最下級生としての1年生の児童が共感や親近感をもって読み進められる。主人公の気持ちや考えが明確に描かれており，言葉から人物の様子や気持ちを思い浮かべながら読む力を育てるのに適している。

<児童の意識・実態調査>

（\*月\*日 \*人実施）

項 目	実 態
1 本を読むことが好き。	好き・・・*人      あまり好きではない・・・*人
2 既習教材「サラダでげんき」の音読の実態	気持ちを込めて読める・・・*名 すらすら読める・・・*人      あまりできない・・・*人
3 短い物語文を読んで，内容を読み取ることができる。（3問）	3問正解・・・*人      2問正解・・・*人 1問正解・・・*人

本学級の児童の多くは読書が好きで，学級で図書室を利用する時間や教師の読み聞かせを心待ちにしており，図書室の利用頻度も高い。しかし，一冊の本をじっくりと読むことのできる児童ばかりではなく，絵や写真を中心にさっと目を通して次の本を探そうとする児童も見られる。また，「サラダでげんき」のお話カードづくりで，自分で選んだ本の好きな場面を紹介する活動を行ったが，一度読んで内容をすぐに理解できる児童がいる一方で，繰り返し読みながら時間をかけて内容を理解する児童があった。実態調査からも，簡単な文章でも，読み取れない児童がいることがわかり，初めて見た文章を叙述に即して，言葉を手がかりとして場面や気持ちを考えられる児童は少ない。読む力をつけるために，語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読したり，音読カードを活用して教科書の内容や簡単な詩などを家庭で音読することを1学期から取り組んできた。しかし，場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読む力はまだ不十分である。

本単元では，場面ごとに挿し絵や文章からねずみたちの様子や気持ちを読み取り，気持ちを込めて音読できるようにし，音読という言語活動を通して読み取りの力をつけたい。「大よろこび」や「しんぱい」など直接的な表現の言葉にサイドラインを引いたり，「とび出して」「とびはねる」など行動や様子を表す言葉から心情を考えるために，動作化したりすることで，チロの気持ちを知る手がかりとする。また1時間の学習の中に，言葉を手がかりに考えを深めて心情を想像する活動と，読み取った気持ちを音読に表す活動を設定し，読みを深めていく。音読はチロ役の読み手と聞き役にわかれて評価し合い，友達の音読の良いところを認め合う場を設ける。終末でチロの気持ちがどう変化していったのかを心情曲線に整理し，最後におばあちゃんに手紙を書くことによって読みを深めていきたい。

4 指導と評価の計画（10時間扱い）は本時

次時	学 習 活 動	評価規準と評価の方法
1	1 ・読み聞かせを聞き，学習の見通しを立てる。	（関）読み聞かせを楽しんで聞き，興味をもって教材文を読もうとする。（行動観察）
2	3 ・第一場面(前半)を読み，手紙の内容からおばあちゃんの思いを考えながら音読する。	（読）手紙の内容を読み取り，おばあちゃんの思いを考えている。（発言・ノート）
	4 ・第一場面(後半)を読み，手紙を読んだねずみの兄弟の様子や気持ちを考えながら音読する。	（読）手紙を読んだねずみの兄弟の様子と，チロの不安な気持ちを考えながら音読している。（音読）
	5 ・第二場面(前半)を読み，おかのてっぺんの木に立って呼びかけるチロの気持ちを考えながら音読する。	（読）おかのてっぺんの木に立ち，おばあちゃんに呼びかけているチロの気持ちを考えながら音読している。（音読）
	6 ・第二場面(後半)を読み，声が向こうの山へとんでいったときのチロの様子や気持ちを考えながら音読する。	（読）おばあちゃんに呼びかけるチロの様子や気持ちを思い浮かべながら，工夫してチロの言葉を音読している。（音読）
	7 ・第三場面を読み，小包が届いた後のチロの様子や気持ちを考えながら音読する。	（読）チロのおばあちゃんに感謝の気持ちを読み取りチロの気持ちが表れるように音読している（発表）
3	8 ・内容を整理し，全文を音読する。	（読）お話の順番にチロの気持ちの変化をとらえ，気持ちが表れるように全文を音読している。（音読）
	9 ・チロになったつもりでおばあちゃんへ手紙を書く。	（書）主人公になりきって手紙を書いている（ノート）
	10	

5 本時の学習

(1) 目 標

おばあちゃんに呼びかけるチロの様子や気持ちを，工夫して表現しながら，チロの言葉を音読することができる。

(2) 準備・資料

場面絵，前時までの学習内容をまとめたもの，チロ役のお面，評価カード

(3) 学力向上に向けた授業改善のための手立て

- ・学習の流れをつかませるための，前時までのチロの気持ちをまとめた掲示物の活用
- ・気持ちを知ら手がかりとなる言葉の押さえと，お面等を用いた動作化による心情の理解
- ・読み手，聞き手に主体的な活動を促す評価カードの活用

(4) 展 開

個への対応( ) 評価( )

学習内容・活動	指導上の留意点( )
1 前時までの場面を音読し，学習の流れを確認する。	第一場面のチロの不安な気持ちと，第二場面前半の，おかのてっぺんの木の上に入ったチロの様子を想起させる。
2 本時の学習内容を知る。	前時までの学習内容をまとめたものを掲示しておき，学習の流れを確認する。
3 本時の範囲を音読(一人読み)する。	挿し絵を見せながら，本時の内容を想起させる。
4 チロの気持ちを話し合う。	チロの気持ちを想像しながら自分のペースで読ませる。音読が苦手な児童には，指で行を追いつながりながら読むように声をかける。
(1) 「ぼくのこえがとんでった。」 ・こえが小さくなったから，おばあちゃんちへこえがとんでった。 ・うれしい。	様子や気持ちを表す言葉にサイドラインを引きながら話し合いをし，内容理解を深める。
(2) 「ぼくは，チロだよ。」 ・もっと大きな声で言わなきゃ。 ・ちゃんととどくかな。 ・おばあちゃん，ぼくだよ，チロだよ。 ・ぼくもいるよ。わすれないでね。	前時の学習であるチロの声が繰り返し響きながらだんだん遠くなっていったことを思い出させ，声をとんでいく様子を想像させる。
(3) 「ぼくにもチョッキ，あんでね。」 ・ぼくのチョッキもわすれないでね。 ・さっきより大きなこえを出したから，きつとおばあちゃんちへとどいた。 ・チョッキがとどくのがたのしみだな。	「うれしがって」「とびはねる」の言葉に着目させ，挿し絵で確認したり動作化させたりしながら，心情を理解させる。
5 チロの気持ちが表れるように音読する。	「こえをはり上げる」の意味を経験とつなげながら理解させ，張り切っているチロの気持ちをとらえさせる。
(1) 「ぼくは，チロだよ。」 ・もっと大きな声で言わなきゃ。 ・ちゃんととどくかな。 ・おばあちゃん，ぼくだよ，チロだよ。 ・ぼくもいるよ。わすれないでね。	チロの気持ちを理解させた上で，どんなふうに音読したいか考えさせる。
(2) 「ぼくにもチョッキ，あんでね。」 ・ぼくのチョッキもわすれないでね。 ・さっきより大きなこえを出したから，きつとおばあちゃんちへとどいた。 ・チョッキがとどくのがたのしみだな。	「あんでね。」が消えてしまうまでじっと耳をすます動作化をさせ，そのときの気持ちを知ら手がかりとする。
(3) 「ぼくにもチョッキ，あんでね。」 ・ぼくのチョッキもわすれないでね。 ・さっきより大きなこえを出したから，きつとおばあちゃんちへとどいた。 ・チョッキがとどくのがたのしみだな。	「いちばんだいじなこと」を押さえ，チロが一番大きな声で言った言葉 一番言いたいことを明確にとらえさせる。
5 チロの気持ちが表れるように音読する。	学習したことを生かして，気持ちを込めて音読するよう助言する。
[音読の進め方] ・4人グループになり，チロ役，聞き役に分かれる。 ・聞き役はアドバイスカードをもち，評価を示す。 赤・・・よかった 青・・・もう少し	役割読みでは，チロになりきれるようにお面をかぶり，動作を取り入れたり表情を工夫したりして音読するよう助言する。
[音読の進め方] ・4人グループになり，チロ役，聞き役に分かれる。 ・聞き役はアドバイスカードをもち，評価を示す。 赤・・・よかった 青・・・もう少し	聞き役はチロ役の音読を評価し，よかったところやもっとこうの方がよいなど，アドバイスをしながらカードを示すよう助言する。
[音読の進め方] ・4人グループになり，チロ役，聞き役に分かれる。 ・聞き役はアドバイスカードをもち，評価を示す。 赤・・・よかった 青・・・もう少し	上手な児童の音読を聞いたり，全員で音読したりする。
[音読の進め方] ・4人グループになり，チロ役，聞き役に分かれる。 ・聞き役はアドバイスカードをもち，評価を示す。 赤・・・よかった 青・・・もう少し	読 おばあちゃんに呼びかけるチロの様子や気持ちを工夫して表現しながら，チロの言葉を音読している。 (音読・行動観察)
6 本時の学習のまとめをし，次時の活動の見通しを持つ。	次の場面の挿絵を見せておばあちゃんからチョッキが届いた様子を知らせ，次時の学習への意欲付けを図りたい。